

天網恢恢疎にして漏らさず——仲秋の名月から

友人と久しぶりに割烹に行った。今、第一次大戦のあとの世界の話は何冊か読んでいる。このコラムにもうなづける。賛成できることがある、などなどあちこち話が飛んで、さあ帰りますか。それからおかみさんと仲秋の名月の話になって、今何十年ぶりかの月と地球との距離が近いから、月が大きく見える。きれいな月やで、とお客さんが言うから外に出てみたら本当に大きくてきれいな月でした。あの月の裏側はどうなっているんでしょうね（発想が可笑しい！）。月の裏側には宇宙人の基地があるといいますね。いや月の裏側を念写した男がおってな、三田光一ゆうて、今で言う「超能力」の持ち主だったらしい。その写真も残っている。昭和6年のことや。昭和6年といえば、（と話が脱線していく）あの有名な俳句「降る雪や 明治は遠くなりけり」を中村草田男が詠んだ年や。この伝で言えば、「昭和ははるかに遠くなりけり」やな。この中村さんが、ある料亭で会食したとき、仲居さんが「ほら、明治は遠くなりけり、って言うじゃないですか」と言った。傍らにいた人が、それを作ったのがこの男や。仲居は恥じるし、中村草田男の喜びが目に見えるような、など話がはずんで、そう言えばこんなことがあったんですよ。

もう数年前のこと、ある大手製薬メーカーの若い子が、よく2人連れて昼食を食べに来ていた。ある日、「今夜来ますので、先に請求書か領収書をいただけませんか？」お馴染みさんだし、大きな会社の人だから、と何万円かの領収書を書いて渡した。そして、その夜ついに来なかった。その後、当然だが、昼食にも来なくなった。懐に金は入ったが、自ら世間を狭くしている。・・・それは「横領ではないのか？」と小生が言ったが、普段おとなしい友人が本気で怒っている。「それはアカンで！」公と私の区別は峻烈にせんといかん。それは許し難い行為だ。本来なら上司が教えておかなあかんことや。怒鳴りつけるだけが上司の仕事ではない。こんな店でワイワイやりながら、自然に教育しておくものや。

世間には目に見えない網があちこちに張り巡らされている。見える人には見えるが、見ようとしぬ者には見えない網や。「かすみ網やな」と小生。そうや、かすみ網や。会社でも病院でも規制やら内規やらがあるやろ。そういうのがあちこちにあるねん。それに引っかけると身動きがとれなくなる。1万円であろうと1億円であろうと、横領は横領や！今、世の中に欠けているのは道徳教育や！情操教育や！やつらは、すでにかすみ網に引っ掛かっている。人格を自ら貶めている。バカな連中や、人間のクズやな。いくら大会社でも、上司や先輩が教育していないことの証明や。仕事でも有能であるはずがない。

転職が決まって気もそぞろ。ひとこと「お世話になりました」の葉書も書けないようなのが上司にいるような会社やから、まあ仕方ないけど。そんな程度の会社やねんで。割烹さんに実害がなかったのは何よりやね。

2014.09.17.